



(財)鳥取県労福協 第257号

題字 柴山抱海書

# ふろは

第257号 もくじ

新年ご挨拶	2
第54回勤労者美術展	5
第18回囲碁・将棋大会開催案内	6
福祉カンパ活動	6
みなくるからのお知らせ	6
支部長挨拶	7
2007年鳥取県に対する制度・政策要請	8
高校生社会人前教育事業	9
ろうきんのNPO支援のご紹介	9
ライフサポートPR	10
西部労福協まつり	10



鳥取県労働者福祉協議会

理事長 中田 博明



新年あけまして  
おめでとございます。  
鳥取県労働者福

社協議会ならびに各支部活動に深いご理解と力強いご支援を賜り、「ご尽力いただきましたみなさまに心からお礼申し上げます。昨年を振り返りますと格差社会が大きな問題としてクローズアップされ、都市と地方の格差拡大による疲弊した地方の実態が浮かび上がりました。

新しい年を誰もが「安心して暮らすことのできる社会づくり」をめざし、県労福協として力を合わせ、活動に取り組みなければと決意を新たにしています。

行き過ぎた競争社会は、社会の仕組みを大きく変え、一方で、有名企業や一部経営者のモラル低下や企業倫理の欠如による、暮らしや食の安全が脅かされ、尊い命さえも失う事故も起こっています。利益と効率を追求した結果は必ずしも人々のためにならず、日本古来の人への思いやりや助け合いの理念が尊重され、地域で人々が支え合う社会をつくるた

め、県労福協として勤労者・生活者の立場で、活動の輪を大きく広げなければなりません。

昨年10月に、県労福協・連合鳥取・労金鳥取県本部・全労済鳥取県本部の労働4団体が中心となり、「ライフサポートセンターとっとり」を立ち上げ、相談業務のワンストップサービスを提供する受け皿として開設いたしました。これは、鳥取県で暮らす人たちの生活の悩みや困っていること、さらには臨時・パートなど未組織労働者のみなさんや県労福協を構成する組織に働く仲間のみさんの職場での労働問題や生活に関する相談に対応するものであります。私たち働く仲間を中心とした労働団体のサポート体制を築き、社会貢献の一助として、県労福協の運動の核として地域に広めるよう取り組みます。

本年もみなさまの知恵と力を、さらには運動への情熱と愛情をお寄せ下さいますようお願いいたします。

県労福協に結集する組合員、ご家族のみなさんとともにこの一年がすばらしい年となりますようお祈り申し上げます。

**鳥取県労働者  
福祉協議会  
役員一同**

理事長	中田 博明
副理事長	前田 厚彦
専務理事	山中 武将
常務理事	小高 郷近
理事	田村 直人
	藤田 浩二
	吉田 孝博
	浜江 隆二
	林 哲一郎
	石田 利明
	福田 幸夫
	河村 正之
	生部 達也
	角 敏男
監事	山口 眞澄
	山中 和真
事務局長	小泉 俊一
職員	谷口 美紀

労働者福祉中央協議会

会長 笹森 清



新年あけましておめでとございます。昨年2007年は、連合をはじめ、

各事業団体との「協働」による「暮らしにかかわるサポート事業」の取り組みが本格的になり、多くの県でサポートセンターが設立され、相談活動が始まりました。

また、クレ・サラ問題に引き続き割賦販売法改正に関しては、法曹界や消費者団体と連携を図り、中央労働協賛会以来、初めての街頭宣伝と署名活動を都内の主要駅で実施し、悪徳商法に対する消費者保護を強烈にアピールしました。また、地方労働協においても強力な運動体制を構築いただきました。その結果、11月

末の産業構造審議会の割賦販売に関する小委員会の最終報告案においては、過失を要件としない既払金返還責任の導入や「過剰与信防止の具体的な調査義務」等が盛り込まれ、運動の成果を勝ち取ることができました。しかしながら、店舗販売や通信販売に関して、既払金返還責任は触れられておらず、いくつかの課題が残りました。今後は、国会での法案化の段階での残課題の実現をめざして、中央労働協に結集する各団体での署名活動を押し進め、全国での運動を引き続き展開する必要があります。

昨年7月の参議院選挙では、与党

が大敗し衆・参「ねじれ国会」となりました。小泉政権を継続した安倍政権は短命に終わり、福田政権へ変わりりましたが、国民の生活に直結する政策はなんら具体化されていません。われわれ働くものを取り巻く環境は、格差社会や「働く貧困層の拡大」等ますます悲惨な状況となっております。年金や医療などの社会保障は揺らぎ、非正規雇用の増加という不安定な雇用構造の中で、勤労国民の暮らしは危機的な状況にあるといつても過言ではありません。

私たちは、こうした格差社会や貧困の現実を直視し、社会の不条理に立ち向かわなければなりません。人としての尊厳が保障され、支え合いと助け合いの原理が活かされる社会、ぬくもりのある社会を目指す必要があります。そのためには、これまでの労働運動を発展させ、広く市民に根ざした社会運動へと転換させる必要があります。

高金利引下げ運動や割賦販売法改正で連携を進めてきた法曹界や消費者団体、暮らしに関わるサポート事業で提携しているNPO団体と手を取り合い、これまでの連合や事業団体と取り組んできた職域運動を、NPO団体等地域運動と連携し、イデオロギーの枠を超えた社会運動として高め、社会から共感の得られる運動を、日本社会全体に役立つ運動を、皆さんとともに作り上げていきたい。2009年に迎える中央労働協60周年の礎としたい。そのために、労働協は、連合労働運動を中心に働く人たちがすべてに連帯を呼びかけ、ワンストップ・サービス「暮らしの

サポートセンター」を地域の拠り所として、地域社会の再生・活性化に向けて、皆の力合わせて暮らしの安全弁になります。

困っている人たちの悩みは「ほっとけない」。それを解決する力を眠らせておくのはもったいない。失敗するかもしれないが恐れず「へこたれない」で2008年を頑張り合いましょう。

連合鳥取

会長 磯江 智昭



新年明けましておめでとございます。会員の皆様にお

かれましては、ご家族おそろいで新しい年を迎えられお喜びを申し上げます。戦後最長を更新続ける景気拡大で、その富は、資本力を持つ大企業と一部の裕福層に集中し、地方の中小企業と勤労国民は所得の減少と税金・社会保険料の負担増などでその実感は全くありません。

こうした情勢の中で、注視すべきは、この10年間、労働者の賃金が減り続けていることであり、他の先進国に例を見ない異常事態であります。また、この間はリストラの時代であり、企業は人件費削減のため、そこに働く者に対して雇用調整を行い、そして労働力が不足した穴埋めとして、パートや派遣など正社員と

比べてコストが半分以下の非正規雇用を拡大しており、賃金の下落は、安い労働力へと置きかえられているのが実態です。

一方、格差社会の問題も深刻化の様相を呈しています。とりわけ非正規雇用労働者の増加の流れは止まらず、雇用形態の違いが所得の格差に連動し、都市と地方の格差も過疎化の進展と医療提供体制などによる格差も表面化しています。

私たち連合は、この格差問題の是正と改善をめざし、非正規雇用の正規雇用への切り替え、違法派遣や偽装請負の根絶など働き方のルールの是正と最低賃金の引き上げなど制度・政策要求などで取り組んできました。

しかし、増え続ける非正規雇用労働者の問題は、これからの連合運動の重点課題として行きますが、非常に重たい課題でもあります。

また、連合・労働協・労金・全労済で今年10月に「ライフ・サポートセンター」を立ち上げ、県内労働者の相談窓口として開設しました。現在、相談件数はまだ少ないようですが、その事は、まだ県民に知られていない部分もありますが、相談者の悩みの解消に努めて行くサポートセンターにして行きたいと思っています。

今年も取組み課題は多くありますが、「安全・安心・公正な社会」をめざし労働協と共に運動を進めて行きます。

皆様方のご理解とご協力をお願いします。申し上げ、新年のご挨拶と致します。

中国労働金庫鳥取県営業本部

本部長 安長 章



新年あけまして  
おめでと〜ござい  
ます。  
旧年中は、会員

・組合員のみなさまには、格別のご  
支援とご協力をいただき、厚くお礼  
申し上げます。

中国ろつきんが誕生して四年が経  
過しました。この間、会員のみなさ  
まからご協力を得ながら進めてまい  
りました。中国ろつきんの飛躍に向  
けて」の取組みは、昨年七月の「新  
鳥取支店」、本年一月の「新米子支店」

の誕生に伴う店舗の大型化で涉外体  
制を充実することができました。ま  
た、他行自動機利用手数料のオール  
キャッシュバックなど、新たなサー  
ビス展開に向け引き続き利用者のみな  
さま方の利便性の向上に務めてまい  
ります。

「せつと、ずつと、ろつきん」を合  
言葉に、みなさまの信頼の中でさら  
に発展できますよう、本年も格別の  
ご支援・ご協力・ご理解をいただき  
ますとともに、みなさまとご家族さ  
まのご健康とご多幸をお祈り申し上  
げ、新年のご挨拶とします。

全労済鳥取県本部

理事長 小東 昭久



あけましておめ  
でと〜ございます。  
旧年中は、格段の  
ご支援とご協力を

賜り感謝申し上げます。お蔭様で鳥  
取共済・全労済」は、創立50年を迎  
えることが出来ました。

現在は、人の一生にかかわる多く  
のライフステージに貢献できるまで  
になり、社会的責任をとらなう事業  
体に成長いたしました。しかしなが  
ら、共済事業を取り巻く県内環境は、  
事業所の統廃合や退職者の増加など  
による職域組合員の減少、少子高齢  
化に加え若者の県外流出などによる  
県民人口の減少など厳しさを増して  
きています。

時代は大きな変革期にあります  
が、「助け合い」という事業と運動を  
通じて「未来に希望が持てる社会」  
「豊かで安心できる社会」の実現を  
目指し、奮闘してまいります。  
本年が皆様にとってすばらしい年  
となることをご祈念申し上げます。

鳥取県生活協同組合

理事長 和田 隆



新年明けまして、  
おめでと〜ござい  
ます。  
皆様には、ご健勝

で輝かしい新春をお迎えのことと心  
からお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、  
食の安全を求める私たちの願いとは  
裏腹に多くの事件が相次ぎ、決して  
明るい年ではなかったように思いま  
す。コープでも取引先のミート・ホー  
プ社の牛肉偽装問題があり、皆様に  
は大変なご心配やご迷惑をお掛け  
し、深くお詫びいたします。その後  
も産地偽装問題や賞味期限改ざん  
等、食品をめぐる問題が毎日報道さ  
れています。

本年は、食の安全、安心をテーマ  
に、皆様に安心してご利用いただけ  
るような事業活動の推進を目指して  
まいりますので、引き続きご協力を  
いただきますようお願い申し上げます。  
労福協のご発展と、より良い年に  
なりますことを祈念し、新年のご挨拶  
とさせていただきます。

鳥取医療生活協同組合

組合長理事 山上 英明



新年おめでと〜  
ございます。  
本年は当組合の  
長年の念願であつ

たセンター病院 鳥取生協病院の新  
築オープンという輝かしい幕開けの  
年となりました。組合員、役員、  
地域住民の方々、そして多くの関係  
者の皆さまに、心から厚くお礼申し  
上げます。皆さまの期待に心えるべ  
く、今まで以上に患者さまの立場に  
たった医療活動に役員一同奮闘す  
る決意ですので、よろしくお願いい  
たします。また今年の後期高齢者保  
険制度の実施や、特定健診・特定保  
健指導の導入、診療報酬の改悪（引  
き上げ）等更なる医療・社会保障の  
改悪が予定されていますが、私たち  
国民も全国各地で反撃を開始してい  
ます。各種制度改悪の見直し、撤回  
を求める大きな国民的運動に呼び  
し、命と暮らしを守る医療生協にふ  
さわしい大きな運動に発展させるよ  
う奮闘する決意を表明し、新年のご  
挨拶いたします。

# 第54回

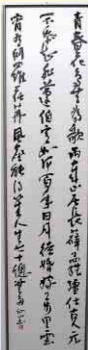
# 鳥 取 県 勤 労 者 美 術 展

2007年12月9日(日)～16日(日)まで、倉吉博物館にて開催されました。会期初日に開会と表彰式を行い、賑やかな開幕でした。また、昨年度から来場者人気投票(連合鳥取会長賞)を実施したことにより、よりじっくりと鑑賞していただけたようでした。

## 1. 鳥取県知事賞、鳥取県労働者福祉協議会理事長賞の入賞者


### 鳥取県知事賞

「青春花鳥」  
井田仙山様(米子市)



書道部門

写真部門



「遭遇の予感」  
佐藤 寛治 様  
(米子市)

洋画部門



「拭く」  
先前 万里子 様  
(米子市)

日本画部門



「冬に咲く」  
窪田 和子 様  
(鳥取市)

### 鳥取県労働者福祉協議会理事長賞

写真部門



「雨もよい」  
河本 正美 様  
(湯梨浜町)

洋画部門



「追想」  
岡田 惇子 様  
(八頭町)

日本画部門



「月見草」  
竹内 小百合 様  
(鳥取市)

「春風無雲」  
西垣 絹香 様(倉吉市)



書道部門

## 2. 後援団体賞の入賞者 : 表彰式 2007年12月9日(日)

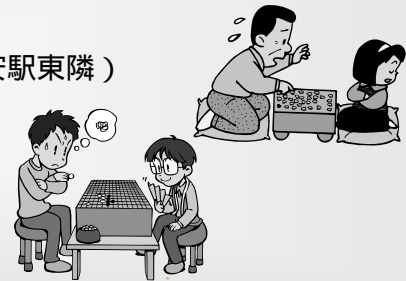
中国労働金庫鳥取県営業本部本部賞				鳥取県商工会議所連合会賞			
写 真	OLD DAYS	浜田 幹也 様	境港市	写 真	源流の森	吉田 幹男 様	鳥取市
洋 画	夕映えの室	岡本 紀枝 様	鳥取市	写 真	井戸端	細田 京香 様	伯耆町
日本画	芙蓉	徳永 幹 様	大山町	洋 画	見張る	佐島 征 様	境港市
書 道	高青邱詩	金田 芳州 様	伯耆町	日本画	月下美人	北川 澄江 様	八頭町
全労済鳥取県本部理事長賞				鳥取県商工会連合会会長賞			
写 真	豪雪の白壁土蔵	竹歳 育世 様	北栄町	写 真	幽玄	細砂 直 様	鳥取市
洋 画	出漁前のひととき	木村 淑子 様	米子市	写 真	connotation	宮本 香子 様	江府町
洋 画	湖山池	中村 雅美 様	鳥取市	洋 画	秋麗烏ヶ山	山田 重夫 様	米子市
日本画	つながり	江谷 玲子 様	鳥取市	日本画	再	生原 京子 様	北栄町
鳥取県経営者協会会長賞				鳥取県中小企業団体中央会賞			
写 真	絆	小林 悦次 様	智頭町	写 真	影の力	山本 勝巳 様	倉吉市
写 真	見て！見て！！	岩崎 瑞枝 様	米子市	写 真	おどり娘	明石 孝 様	鳥取市
洋 画	砂丘の風	谷口 正幸 様	八頭町	洋 画	デッサン人形	熊沢千雅子 様	境港市
日本画	沙羅双樹	古田 啓子 様	鳥取市	洋 画	遺跡への思い (デルフィの丘)	本池有利子 様	米子市

## 3. 連合鳥取会長賞の入賞者 : 表彰式 2007年12月16日(日)

写 真	水景	細砂 直 様	鳥取市	洋 画	大山の秋(貝田)	笹鹿 眞一 様	米子市
日本画	翔鯉	長砂 令子 様	鳥取市	書 道	高館張燈	井田 仙翠 様	米子市

# 第18回囲碁・将棋大会開催案内

- 開催日時** 2008年2月17日(日) 受付10時
  - 開催場所** まなびタウンとうはく 東伯郡徳万266-5 (浦安駅東隣)
  - 参加資格** 各地区予選を勝ち抜いたチーム
  - 参加料** 無料
  - 申込締切** 2008年2月4日(月)
  - お問い合わせ** 鳥取県労協事務局 0857(27)4188
- \*詳しくはホームページをご覧ください。



## 街頭福祉カンパ実施!

参加していただいたみなさん、カンパしていただいたみなさん、ご協力ありがとうございました。



東部支部	12月22日(土)	市内8ヶ所
募金額	213,231円	
中部支部	12月8日(土)	市内8ヶ所 郡部2ヶ所
募金額	238,355円	
西部支部	12月8日(土)	市内3ヶ所
募金額	305,806円	



職域カンパ(2007年12月10日~2008年2月10日)も実施していますので、皆様の温かいご協力をお願いいたします。

### 違法かどうかの判断基準

違法 パワハラ	1回でも	刑法に触れる行為 不法行為の強要 労働基準法に触れる行為 明らかに基本的人権を侵す行為
	多頻度 違法の可能性 少	人格を傷つける言動 マネジメントの問題 ・不適切な業務指示 ・行き過ぎた教育指導
パワハラではない		業務遂行上必要、かつ適切な指示など

(注)ウオレ・シー・キューブの資料より作成

A2 パワハラは、セクハラと違って法的規制がなく、業務命令と区別

なるの?  
Q2 いろんなことが、パワハラに

A1 パワー・ハラメントの略で、職権などのパワーを背景にして、本来の業務の範ちゆうを超えて、本来的に、人格と尊厳を傷つける言動を行い、就労者の働く環境を悪化させる、あるいは雇用不安を与えることです。  
(定義者 ㈱クオレシー・キューブ代表者)

Q1 『パワハラ』って何?

**鳥取中小企業労働相談所**  
**みなくる**  
みなくるでは、労働に関する相談に幅広く応じてます。また、労働セミナーを年4回開催しており、最終回11月は『職場のトラブル』パワハラ・いじめ』について開催しました。そのセミナーから、パワハラについての基礎講座!

しにくいのが特徴です。パワハラとなるのは、  
・指導が業務上必要かつ不適切  
・指導が必要であったとしても表現が不適切(差別的発言、やり方や場所が不適切、繰り返し行う等)  
・表現が不適切とはいえなくても、結果として従業員に健康上の問題や雇用不安が生じ、かつ本人の責任ではない  
のような場合が考えられます。

Q3 実際に職場でパワハラ被害あったら、どうしたらいいの?  
A3 次のことを行ってください。  
事実を記録に残す  
パワハラと思われる言動や行動を、書面に整理したり、録音するなど、客観的な事実を記録に残すことが大切です。記録には、日時、場所、具体的な状況(言動内容)、周囲の状況(周囲に誰がいたか)など残してください。

相談する  
行為者の上司や人事労務担当者、労働組合などに相談してください。また、社内に相談できる人がいなければ、公共の相談機関や専門家に相談し、アドバイスを受けましょう。

ひとりで悩まないで、早めに信頼できる人や専門家へ相談することが大切です。

鳥取県中小企業労働相談所みなくる  
フリーダイヤル  
0120・451・783

# 支 部 長 あ い さ つ

労福協東部支部

支部長 河村 正之



新年、あけましておめでとございます。本年も皆様方のご活躍とご

多幸を心より祈り申し上げます。

私たち労働者を取り巻く環境は、年金問題や増税などによる生活不安や、原油の高騰などによる物価の上昇など、厳しさを増してきており、その様な状況下において、我々の推進する労働者福祉活動は重要性を増してきていると感じております。

会員の皆様方が安心して暮らせる社会作りを目指し、労福協活動を展開して行く為には、まずは労福協の社会的地位を確立することが必要だと考えます。その為にも、今までの支部活動を継承すると共に、新たな試みにも挑戦し、存在感を示して参りたいと考えておりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

労福協中部支部

支部長 中林 純也



新年あけましておめでとございます。皆さまにおかれ

ましては、ご家族おそろいで新しい年を迎えられたことをお慶び申し上げます。昨年度は、皆様にご協力頂き、中部支部として1年間活動できたことに感謝しております。

2007年度は、石油高騰による物価の上昇・可処分所得により、労働者にとっては益々厳しい状況でした。

こうした厳しい状況の中、労福協では、勤労者福祉の充実に向け各種活動を展開してきております。新しい年を迎えますが、引き続き原点を大切にして今後も活動を行って行きたいと思えます。今年も引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。頭のご挨拶といたします。

労福協西部支部

支部長 角 敏男



新年明けましておめでとございます。2008年の新春を、ご家族とともどもお元氣でお迎

えのこととお慶び申し上げます。昨年、激動する政治状況のなか、様々な格差は縮小されず景気も思った様に浮揚せず、勤労国民にとって相変わらず厳しい年であったと思います。

新年2008年が皆様にとって良い年になりますよう心から願っております。さて、労福協運動の発展のためには新たな運動領域の拡大は不可欠です。

勤労者の皆さんが何を求めているのか的確に把握して、大胆に見直すべきは見直すという、いわゆる「スラップ アンド ビルド」を進めなければなりません。皆様と力を合わせ労福協の社会的地位を高め、さらなる勤労者福祉の向上を目指さなければならぬと考えます。皆様のさらなるご協力を頂きますようお願い申し上げます。頭のご挨拶と致します。

# 2007年鳥取県に対する 制度・政策要請

## 要 請 内 容

ます。より勤労者に身近で参加しやすいものとするため、一層のご支援とご協力をいただきたい。

### 1. 労働者福祉運動の育成・強化について

(1) 労働者福祉の充実について  
勤労者福祉運動を推進し継続していくため、広報、研修、調査、文化、体育事業へ助成を引き続き継続されたい。

(2) 労働相談所について  
現在の中小企業労働相談所(みなくる)を、勤労者、事業主双方が気楽に相談できる場所の確保と、総合的な勤労者福祉センターとして充実に図られたい。また管理運営事業の委託を引続き継続されたい。

(3) 「ライフサポートセンター」とりについて  
県内の未組織労働者を含めた生活者が、安心して生活していただくことを目的に、地域貢献として法律、労働、福祉・介護、子育て、メンタルヘルス、金融・保険のライフプラン等、相談機能を有した暮らしのサポート事業「ライフサポートセンター」とりへ2007年10月29日事業開始)を展開していただきますので財政支援と相談事業への協力について支援をいただきます。

(4) 鳥取県勤労者美術展について  
第54回鳥取県勤労者美術展は私もが委託事業として4年目を迎える

### 2. 中小企業勤労者の福利厚生について

中小企業勤労者サービスセンターは、大企業との福祉面での格差を縮小するための総合福祉事業であり、全県的なとりくみが必要であり、既設置団体では財政的に運営が困難であり、そのための県センター設立にむけて、既存サービスセンター・県・市町村・労働協・労働団体等による鳥取県勤労者福祉サービスセンター連絡会(仮称)の設置に向け協議を始めていただきたい。

### 3. 子育て支援について

(1) 地方分権の進展や少子社会への急速な進行による社会変化の中で、子どもを安心して生み育て、かつ子どもが健やかに育つ環境づくりは、将来の社会全体の問題になつていきます。

特に、「仕事と家庭の両立支援」「地域における子育て支援」は重要な課題であります。そこで市町村が設置・運営しているファミリー・サポート・センターを各地に作るよう検討・指導をいただきたい。

(2) 子育て支援の一環として制度化された、育児休暇制度の利用が促進できるよう、企業の社会的責務として取り組まれるよう指導を

いただきたい。

### 4. 高齢者対策について

高齢者や退職者の生きがいづくりは、県としても重要な政策課題の柱になります。

元気なシニアの能力や技能が地域社会において、産業育成に活かされるような環境の支援システムと、いきいき健康づくりなど、ひきつづき各種団体や地域と連携を進め、情報の収集や発信に努め、健康づくり鳥取をアピールされたい。

### 5. 食の安心安全の確保について

(1) 消費者の食の安全確保のために、「食品表示ウオッチャー制度」の充実や、「食品表示110番」の県での設置と共に、消費者の「相談窓口」の機能強化を図ること。

(2) 子どもたちの成長に影響を及ぼす食の問題は重要であり、子どもたちの健康な食生活の推進を図ること。又、県内産食品の安全性の確保を図ると共に、地産地消の推進に努められたい。

### 6. クレサ(消費者金融)の多重債務の未然防止について

(1) 多重債務者の相談体制を強化すること及び、多重債務の未然防止のための指導啓発を行うこと。

(2) クレジット、サラ金被害の未然防止に向けて、高校生、大学生を対象とした消費者講座など「賢い消費者」になるため教育現場に対し、啓発活動の更なる普及・充実に図るよう指導をされたい。

### 7. NPOの中間支援団体の立上げについて

NPO団体は、地域でさまざまな社会的課題に取り組んでおられますが、より幅広い活動を進めていくためには、他団体との連携が不可欠であり、そのための中間支援団体を設置されたい。

### 8. 勤労者福祉事業団体の要請内容

(1) 育児支援ローンに対する広報活動について  
平成19年発足の制度であり、利用者への制度周知がまだ不十分であります。中国労働金庫との提携「育児支援ローン」について、県のHP・県民だよりへの掲載・関連機関への周知など、広報活動の充実を望みます。

また、この制度を少しでも多くの方に利用いただくために、利用者の拡大策について検討をされたい。

(2) NPO団体に対する支援について  
中国労働金庫は行政や企業では解決できないさまざまな社会的課題にとりくむ地域のNPO団体を支援するため、NPO寄付システムの実施、NPO立ち上げ助成金制度の実施、NPO事業サポートローンの取り扱いなどをおこなつていきます。

今後多様化する県民のニーズ、諸課題の解決に向け、NPO活動の重要性は増し、年々NPO団体の立ち上げが増加しています。更なるNPO支援に向けて鳥取県・鳥取県勤労者福祉協議会・中国労働金庫の3者で調査・研究も含め「協議会」の設置と、予算措置をされたい。



# 「高校生のための消費者講座」をスタート

2007年度も鳥取県労働者福祉協議会の主催で、「高校生のための消費者講座」がスタートしました。

11月14日、ろつきん鳥取支店 犬山次長・池田職員が講師となり、鳥取県立岩美高校3年生約130名を対象に講義を行い、生徒たちも熱心に話に聞き入っていました。

これから社会へ出て行く高校生に、自立した社会人になっていただくことを目的として、多重債務や悪質商法などの消費者トラブルを未然に防止するための学習・啓発活動を行っています。

また12月6日・13日2日間、ろつきん猪原米子支店を対象に講師となり、実際に相談を受けた被害例を交えて講義を行いました。

生徒からは「カードやローンというのは、とても便利だけど計画的に使わないと危険だということがよく分かりました。」「いつもも二ユースで騙された人を見る度に、何故騙されるのか不思議に思っていました。この講座ですぐ身近にこういったことがあるのだと知ることが出来、自分も気をつけようと思いました。」など好評を得ました。



## 「中国ろつきんNPO立上助成金制度」

第4回目となるNPO助成金制度に基づく募集を行いました。NPO法人立上の助成ということ、2007年に新規認証を受けられたNPO法人および現在申請中の団体を対象に行っています。

## ろつきんのNPO支援のご紹介

私たちが地域を私たちの意志で創る。

中国ろつきんNPO立上助成金制度について

中国ろつきんNPO立上助成金制度とは、NPO法人の設立・活動の促進を図ることを目的として、中国ろつきんがNPO法人の設立・活動に必要となる経費の一部を助成する制度です。

中国ろつきんNPO立上助成金制度の概要

中国ろつきんNPO立上助成金制度の対象となるNPO法人

中国ろつきんNPO立上助成金制度の申請方法

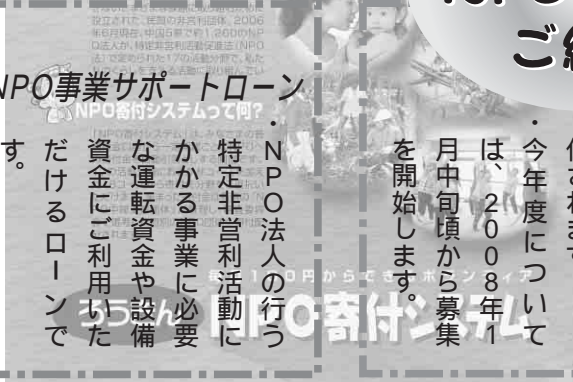
中国ろつきんNPO立上助成金制度の問い合わせ先

### NPO事業サポートローン

NPO法人の行う特定非営利活動にかかる事業に必要な運転資金や設備資金にご利用いただけるローンです。

### NPO寄付システム

ろつきんの普通預金口座から自動振替により、定期的に申込者の口座から、申込者が希望するNPO活動分野への寄付金を引き落としする制度です。活動分野ごとに集まった寄付金は、配分審査委員会で決定した個別NPO団体に交付されます。



生活のことで悩んでいませんか？

# ライフサポートセンターとっとり

## 2007年10月29日スタートしました

日常生活を送っていく上で起こるさまざまな悩みや問題・・・どこへ相談したらいいんだろう



私たちが力になります。無料相談窓口をネットワークしました！

### 相談内容

保険・共済	保証の見直し相談 ライフプラン相談
金融	多重債務・資産運用
食の安全	食に関する相談 健康食品に関する相談
福祉・介護	福祉・介護に関する相談
労働	労働相談・労働セミナー
法律	交通事故・相続等
メンタルヘルス	心の悩み相談
子育て	子育て相談（紹介）

### 相談方法（無料）

FAX、メールでご相談を受け付けます。  
ご要望によりFAX、メールでお答えします。  
F A X 0857-32-5454  
メール soudan5454@shore.ocn.ne.jp

### 弁護士無料相談 受け付け中

毎月第1・3水曜日 PM3:00~5:00  
一人30分 予約制（先着順）予約は相談方法と同じ

F A Xによる相談はお知らせチラシをご利用ください。

メールによる相談はライフサポートセンターとっとり **検索** のホームページをご利用ください。

鳥取県労福協・連合鳥取・事業団体を主体として、NPOおよび弁護士の協力を得て運営します。

## 西部

# 第4回労福協まつり報告



11月24日(土)米子産業体育館を会場に、午前11時から第4回の労福協まつりを開催しました。当日は、好天に恵まれ絶好のイベント日和になりました。但し、開催日を土曜日にしたことで、

行きたくても仕事で行くことが出来ないということもあり、来場者数が約900名と昨年と比較して伸び悩みました。それでも、開会時間の前から多くのご家族連れが来場され、屋内のゲームコーナー・屋外のミニSL・屋台コーナーは子どもたちの歓声と熱気で盛り上がりました。

今回は、屋外コーナーに、小規模作業所のバザーコーナーを併設しました。

毎年、多くの来場者で賑わう労福協まつりですが、多くの仲間の皆さんの協力を得て成り立っています。全て動員者の手を借りて行いました。

まつりという親しみやすい媒体をとおして、労福協という組織の知名度の向上と日頃からご協力頂いている会員並びにそのご家族の皆様楽しい一時を過ごして頂けたらという思いから始めましたが、その甲斐あってか少しづつですが知名度の向上が図れたと実感しています。



（西部労福協まつり実行委員会）

発行日 二〇〇八年一月 発行 鳥取市天神町三〇番地五  
発行責任者 中田博明 編集責任者 山中武将 編集委員

(財)鳥取県労働者福祉協議会 第257号 TEL(〇八五七)二七四一八八  
藤田浩一・森田泰彰・下田恵美子・岡本藍子・谷口美紀